

経路付近の騒音影響<詳細>

○ 経路付近の航空機騒音の最大値は、高度及び機材による。一般に、離陸時よりも着陸時の方が音が小さい。
 (機材が小さい方が、騒音が小さくなる。さらに、最新の機材は古い機材に比べ低騒音化が図られている。)

着陸時(経路直下)	最大騒音レベル(dB)					
	小型機		中型機		大型機	
	B737-800	A320	B767-300	B787-8	B777-200	B777-300
高度						
1000 ft (305m)	76	77	78	76	79	80
1500 ft (455m)	71	73	74	72	76	76
2000 ft (610m)	68	71	71	69	73	74
2500 ft (760m)	65	69	68	66	71	72
3000 ft (915m)	63	67	66	64	70	70
3500 ft (1065m)	61	66	65	63	68	69
4000 ft (1220m)	59	65	64	61	67	68
4500 ft (1370m)	58	64	63	60	66	66
5000 ft (1525m)	56	63	62	58	65	66

離陸時(経路直下)	最大騒音レベル(dB)					
	小型機		中型機		大型機	
	B737-800	A320	B767-300	B787-8	B777-200	B777-300
高度						
2000 ft (610m)	78	79	80	74	80	82
2500 ft (760m)	76	77	78	71	78	79
3000 ft (915m)	73	74	76	69	76	77
3500 ft (1065m)	72	72	74	67	74	75
4000 ft (1220m)	70	71	73	66	73	74
4500 ft (1370m)	68	69	71	64	72	73
5000 ft (1525m)	67	68	70	63	70	71
5500 ft (1370m)	66	67	69	62	69	70
6000 ft (1830m)	65	66	68	61	68	69

<備考>

- 左表の騒音値は、過去の航空機騒音調査によって取得したデータベースから、飛行経路下における地上観測点での最大騒音値※を推計した値。
 ※ 航空機一機が観測地点の真上を通過する際に騒音値がピークを迎えるという前提にたって、計算上求められる騒音のピーク値。
- 実際の騒音値は、離陸重量等の運航条件や風向等の気象条件によって変動する。
- 左表に記載している機種は、羽田空港の2014年夏ダイヤにおいて、大型、中型、小型の各グループで構成比率上位2機種を例として選定。
- B777-300(ER)は、南風時B滑走路からの離陸は予定していない(滑走路の長さが不足)

※国土交通省推計値